

キーワード：

基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立尾札部中学校

1 課題

- ① 生徒の表現力の不足
- ② 学校行事と総合的な学習の効果的な関わり方

2 課題解決の具体策

- ① 授業における発表場面の工夫
- ② 学校行事と連動した総合的な学習の時間における発表場面の工夫

3 取組の概要

① 授業における発表場面の工夫

いくつかの教科で発表場面を設定することができた。具体例をあげると、1年生国語の授業でスピーチを実施した。自分で気をつけたいこと（たとえば、顔を上げるなど）をあらかじめ決めて、その観点で相互評価をさせることで、とても意欲が向上した。

② 学校行事と連動した総合的な学習の時間における発表場面の工夫

総合的な学習の時間で取り組む体験的な活動（旅行的行事や職業体験など）に対して発表会を位置づけ、テーマに沿ったまとめを行うことによって表現力を高めていくことができる。

さらに発表会を開かれた学校行事へ位置づけることによって、生徒に適度の緊張感やプレッシャーを与え、表現への意欲を高めることができると考えた。

具体的には、例年、学年内でのみ行われてきた総合的な学習の時間の発表会をやめ、学校祭のプログラムの一つとして総合的な学習の時間の発表を行うこととし、1年：校外学習、

2年：宿泊研修、3年：修学旅行の3つの旅行的行事という体験で得た情報を整理、分析したうえで、自分の考えを表現させていくことに取り組んだ。

さらに2年生では、総合学習におけるもうひとつの取り組みとして「職場体験学習」に取り組んだ。職場体験学習の発表会を校内研修と結びつけ、また職場体験先の方を招待することによって、生徒の表現意欲を高めることができると考えた。



4 成果と課題

- 授業時間の発表を楽しみにする生徒が出てきており、授業そのものに取り組む意欲につながってきている。
- 例年の総合的な学習の発表会に比べて、準備段階から生徒が意欲的に取り組む姿が多く見られた。
- 授業時間内に発表場面を取り入れることが、教科によって偏りがあり、全教科を通しての取組とはならなかった。